

小野運送店

来年2月に京浜島センターを開設

中京エリアの営業所開設に意欲



満床稼働の「城南島センター」

1「(東京都大田区)の2拠点」は満床稼働しており、作業場も飽和状態にある。新規案件の受注が難しいことや作業者の労働環境を考慮し、拠点の新設を計画した。新施設では、既存2拠点とともに、東京23区内の建材等の個別配送を担う。

北原洋志執行役員運輸営業部長は、「東京23区内をスムーズに配送するには、都内中心地に拠点を設ける必要がある。既存2拠点のスペースがひっ迫している中、京浜島に我々のニーズに合う空物件が出たため、倉庫を新設することにした」と説明する。

また、同月には「千葉営業所」(千葉県九十九里町)でも新たな危険物倉庫を開設する。危険物倉庫4棟を建設し、倉庫面積は約2000㎡。消防法第4類第1〜第4石油類を扱い、主に大手塗料メーカーの製品と原材料を保管する。

さらに、栃木県でも危険物倉庫を増強する計画。既存の「市貝営業所」(栃木県市貝町)では千葉営業所と同様の危険物商材を扱っているものの、倉庫スペースが不足しているため、新たに約1〜2万㎡の土地を取得

し、用地規模に応じた危険品倉庫を開設する。茨城県においては小美玉市で「東茨城営業所」を開設予定にあり、2000㎡の敷地に、配送センター約350㎡、常温一般倉庫約170㎡、危険物一般取扱所約70㎡を備え、危険物輸送の積み替え拠点としても活用する。

今後は、中京エリアで営業所の新設を視野に入れる。同社は愛知と兵庫にも事業所を構えているが、各地域の協力会社に業務を委託しているため、自社で倉庫や車両を完備する営業所を設置していない。ドライバーの時間外労働の上限規制がより一層厳しくなる昨今において、関東〜関西間の長距離輸送に対応するため、中間地にあたる中京エリアに営業所を構え、荷物の受け渡しやトレーラのスイッチ輸送を可能にし、コンプライアンスの徹底とドライバーの労働負担解消につなげる。

北原氏は「マザー工場を関東と関西に設置している荷主が多いため、関東〜関西間の輸送ニーズは高い。比較的早い段階で中京エリアに営業所を開設したい」と話す。

関東を中心に、危険物物流を展開する小野運送店(本社・東京都品川区、小野正彦社長)は来年2月、「京浜島センター」(東京都大田区)を開設する。首都圏エリアで3カ所目となる基幹拠点で、主に建材などの一般商材を取り扱う。敷地面積は約1000㎡、延床面積は各階500㎡の地上2階建て。京浜島の既存物件を取得したもので、簡易的な改修を加えた後、1階をスルー型の拠点として運用し、2階では保管と各種流通加工業務の受託を視野に入れる。

現在、首都圏エリアで保管業務を担う「東京営業所」(東京都品川区)と「城南島センタ



北原氏

Eメールでご意見、情報をお寄せ下さい

info@cargo-news.co.jp

京浜島に新センターが誕生

小野運送店は2021年2月に「京浜島センター」を新設します
都内アクセス抜群の好立地でお客様のビジネスをサポートします

2月にはこちらも
竣工予定です

京浜島センター

所在地：東京都大田区京浜島
用途：物流加工および保管
敷地面積：約1,000㎡

〔(1F) 配送センター約500㎡〕
〔(2F) 常温一般倉庫約500㎡〕

東茨城営業所

所在地：茨城県小美玉市
用途：物流加工および保管
敷地面積：約2,000㎡

〔配送センター約350㎡〕
〔常温一般倉庫約170㎡〕
〔危険物一般取扱所約70㎡〕

千葉九十九里倉庫

所在地：千葉県山武郡
用途：危険物第4類保管
敷地面積：約5,000㎡

〔常温危険物倉庫約500㎡×4棟〕
〔合計2,000㎡〕



120年の歴史が繋ぐ信頼
お客様の荷物を安全・確実に
お預かりします

お客様の気持ち運ぶ



株式会社小野運送店

お問い合わせはこちらまで
TEL.03-3474-2081 (本社運輸営業部 担当：北原・高梨)

〒140-0004 東京都品川区南品川 4-2-33

小野運送店

検索